平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	まちづくり調査検討事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 都市政策課	目	都市計画総務費
		総計	3-1-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	4,166,640	事務業務委託料	4,166,640
	国補助			
	府補助			
	市債			
	その他			
合計	4,166,640			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	平成32年人口13万人を目指すため、都市計画上の課題等の解消を図る	龍間地域におけるまちづくり計画案の検討 市域の景観形成に関する調査検討 東部地域道路網築造に係る基礎調査
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
龍間地域のまちづくり…情報収集(H27-28)、まちづくり計画案の検討(H28～) 景観および道路網…H29着手	各業務単位で委託契約を行い、年度を通して調査・検討等を実施	

指標	内容			目標	H29実績
	人口	総計	H32	130,000人	121,337人
		KPI	H32		
	龍間地域まちづくり計画案の作成	独自	H30	100%	50%
	人権行政の視点	市民の自由権および財産権を確保することに寄与			市民の自由権・財産権の確保に努めた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	平成32年人口13万人を目指すための都市環境づくり	東部地域を活性化するための制度等を調査・検討するとともに、市域全体の景観の現状把握等を行う	
結果	人口流入に資する都市環境づくりを行った	東部地域の活性化に資する道路網構想及び景観形成基本方針案を作成した		

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	空家等対策推進事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 住宅政策課	目	都市計画総務費
		総計	3-1-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	998,400	非常勤職員報酬	113,500
	国補助		印刷製本費	112,200
	府補助		使用料及び賃借料	5,700
	市債		個人補助金	767,000
	その他			
合計	998,400			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	市内空家等の流通・利活用を推進する	平成28年度に策定する大東市空家等対策計画に基づき、具体的対策として補助事業等を新規実施する
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
平成32年度まで大東市空家等対策計画に位置付けている施策を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接地等取得費補助制度を施行(9/1) ・大東市空家等対策協議会を開催(10/6) 	

指標	内容	目標	H29実績
	大東市人口	総計 H32 130,000人	121,337人
	申請件数(H29~32合計)	KPI H32 独自 H32 40件	6件
	人権行政の視点	市民の自由権および財産権を確保することに寄与	空家対策をとおし、市民の財産権等の確保を進めた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	<p>目的</p> <p>多様な暮らし方を支援する住まい・まちづくりを推進する(住マス基本方針5)</p> <p>結果</p> <p>空家等対策を推進</p>	<p>利活用等を促進することにより空家等の数を減らすため</p> <p>隣接地等取得費補助制度を施行し、補助金を交付した</p>

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 住宅政策課	目	都市計画総務費
		総計	3-5-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	3,855,000	印刷製本費	118,000
	国補助	5,640,000	個人補助金	11,280,000
	府補助	1,903,000		
	市債			
	その他			
合計	11,398,000			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	住宅・建築物耐震促進改修計画に基づき住宅等の耐震化を促進し、安心・安全なまちづくりを推進する	既存民間建築物の耐震診断、木造住宅の耐震設計および改修工事に対して補助を行う
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
平成28年度から平成37年度の10年間	(通年) ・耐震診断、耐震設計・改修補助に関する申込受付 ・申請に対して補助を実施	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	補助金の申込件数	独自 H29	診断50戸、設計10戸、改修15戸
人権行政の視点	大規模な地震による被害を最小限にとどめ、市民の生命権や財産権を守る		耐震化の促進により市民の生命権や財産権の保護を進めた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	住宅・建築物の耐震化の促進
結果	住宅・建築物の耐震化の促進	各種耐震補助を実施した

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	三世代家族推進事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 住宅政策課	目	都市計画総務費
		総計	3-1-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	11,088,800	印刷製本費	296,800
	国補助		個人補助金	10,792,000
	府補助			
	市債			
	その他			
合計	11,088,800			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	三世代同居・隣居・近居を促進し、転入および定住を促進する	三世代同居等に関する転入・転居費用、住宅取得・リフォーム費用の一部を補助する
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・制度施行(H27) ・距離要件の緩和および市内転居の追加(H28.11) 	(通年) <ul style="list-style-type: none"> ・三世代同居等に関する補助の申込受付 ・申請に対して補助を実施 	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
	補助利用件数	KPI H32 50件	84件
		独自	
人権行政の視点	三世代同居を推進することで、家族の絆を深め、思いやりの心、人を大切にする心を育む	三世代同居等を通して人を大切にする心を育むことができた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 人口流入・定住促進 結果 人口流入・定住促進	補助制度の普及啓発を促進し、利用者数の増加を図る 三世代家族推進事業に関する補助を実施した

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	都市浸水対策事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	河川費
所属(部) (課)	街づくり部 水政課	目	都市浸水対策費
		総計	3-5-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	17,666,960	調査研究委託料	421,200
国補助	13,000,000	設計委託料(資産)	2,808,000	
府補助		新設改良工事請負費(国)	40,143,021	
市債	23,400,000	新設改良工事請負費(単)	10,694,739	
その他				
合計	54,066,960			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	集中豪雨等による浸水被害を軽減するために効果的な雨水貯留施設等の整備を進める	
内容	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	H30 谷川中貯留施設整備工事 諸福中貯留施設実施設計業務委託 H30 深野北地内水路改良工事 H31～貯留施設整備実施設計および整備工事を順次実施	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	小中学校の貯留施設整備率(箇所数)	独自 H40 100%	55%
人権行政の視点		内水排除等の施設を整備し、減災・防災の観点から市民の生命と財産を守る	整備することで浸水被害のリスクを軽減した

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	安心して暮らせるまちづくり
結果	浸水対策のための設計委託及び整備工事	貯留施設を整備したことによって、大雨時の浸水被害が軽減された

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	水路整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	河川費
所属(部) (課)	街づくり部 水政課	目	河川改修費
		総計	3-2-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	23,261,119	設計委託料(資産)	16,329,600
国補助	24,991,000	測量ボーリング委託料(費用)	430,920	
府補助		維持補修工事請負費(資産)	1,231,200	
市債	22,200,000	新設改良工事請負費(国)	49,700,000	
その他		単・建設事業補償金	2,760,399	
合計	70,452,119			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	水路の修景整備などを実施することで、水路の環境改善を図り、市民に親しまれる水辺環境を創出する	
内容	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	灰塚及び太子田水路整備実施設計(H30) 灰塚水路整備工事(H31～H33) 太子田水路整備工事(H31) 新田地内水路・道路整備工事(H29～H32)	4月 業務委託費・整備工事費 積算 5月 交付申請 6月 業務委託を発注 11月 整備工事を発注 3月 業務委託完了

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	整備工事進捗率(延長)	独自 H33 100%	10%
人権行政の視点	地域の実情を十分に把握し、地域住民の快適な生活を実現するための整備を実施する	地元と話し合いを行いながら事業を進捗させた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	水辺の保全と活用
結果	現況水路の環境改善に向けた設計業務と整備工事	地元の意見を十分に取入れて、良好な環境を創出するための設計と整備工事(繰越)を行った

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	花と緑のまつり事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	緑化推進費
		総計	3-2-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	930,000	その他負担金	930,000
	国補助			
	府補助			
	市債			
	その他			
合計	930,000			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	「花と緑のまつり」により都市緑化に関する市民の意識高揚を図る	第32回大東市花と緑のまつりを開催する
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
・第32回大東市花と緑のまつりの開催(H29)	・まつりの開催(6月4日)	

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	参加者数(延べ)	独自	H29	6,000人	4,000人
人権行政の視点	市民参加を促進することにより、地域コミュニティの醸成に貢献する			老若男女を問わず心の豊かさを培うことに貢献した	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 都市緑化の推進	市民の緑化意識の向上を図る
結果 緑化推進に関する市民の意識向上	「だいたいクリーンウォーク&環境フェア」との共同開催により、相乗効果による市民の緑化・美化意識を向上することができた	

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	都市公園再整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	緑化推進費
		総計	3-2-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	6,875,380	事務業務委託料	351,820
	国補助	57,210,000	設計委託料(資産)	8,809,560
	府補助		新設改良工事請負費(国)	98,842,680
	市債	53,400,000	新設改良工事請負費(単)	9,481,320
	その他			
合計	117,485,380			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	供用開始後 20 年を経過した都市公園についてリニューアルを図り、地域特性に応じた特色ある公園整備をめざす	<ul style="list-style-type: none"> ・新田中央公園再整備 ・野崎中公園実施設計業務 ・西楠の里公園概略設計業務(区域拡大)
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	新田中央公園再整備 2期(H30) 野崎中公園再整備工事(H30) 西楠の里公園基本設計(H30) 新田東公園、野崎南公園基本設計(H30) 西楠の里公園実施設計(H31) 新田東公園、野崎南公園実施設計(H31)	【新田中央公園再整備工事(第1期)】 11月 工事着工 3月 整備完了 【野崎中公園実施設計業務】 11月 業務着手 3月 完了

指標	内容	目標	H29実績
	市民 1 人あたり公園面積	総計 H32 4.06 m ² /人	4.08 m ² /人
	市内の都市公園の再整備率	KPI H32	
		独自 H42 100%	46.2%
人権行政の視点	子供から老人まで、幅広い年齢層の市民に憩いの場を提供する	幅広い年齢層の市民に憩いの場を提供できるよう設計・工事を行った	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 魅力ある公園づくり 結果 老朽化した公園の再整備を進める	地域特性に応じた施設整備を図る 地域住民の要望を聞き、魅力ある公園・施設整備を実施するため設計及び工事を行った

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	中垣内浜公園新設事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	中垣内浜公園新設費
		総計	3-2-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	27,240,940	手数料(資産)	270,400
	国補助	32,000,000	事務業務委託料	707,420
	府補助		新設改良工事請負費(国)	71,100,720
	市債	28,800,000	新設改良工事請負費(単)	15,962,400
	その他			
合計	88,040,940			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	計画面積 約 1.5ha の施設整備	第Ⅱ期 施設整備
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
第Ⅰ期施設整備(H28) 第Ⅱ期施設整備(H29) 第Ⅲ期施設整備(H30) 第Ⅳ期施設整備(H31)	11月 工事着工 3月 整備完了	

指標	内容	目標	H29実績
	市民1人あたり公園面積	総計 H32 4.06 m ² /人	4.08 m ² /人
		KPI H32	
	供用面積	独自 H31 1.5ha	0.62ha
人権行政の視点	災害発生時の防災拠点を整備し、市民の生命・財産を守るとともに、平常時には憩いの場を提供する	市民の生命・財産を守り、平常時には憩いの場を提供した	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 生活環境の向上	地域の防災拠点の形成を図る 地域コミュニティの形成を図る
結果 生活環境向上のための整備工事	地域の防災拠点及びコミュニティ形成のための工事を行った	

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	橋梁長寿命化等修繕事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	道路維持費
		総計	3-3-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	40,834,366	事務業務委託料	18,036,000
	国補助	11,927,000	設計委託料(費用)	5,054,400
	府補助		新設改良工事請負費(国)	49,460,760
	市債	28,000,000	その他負担金	8,210,206
	その他			
合計	80,761,366			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	①橋梁長寿命化②橋梁点検③住道デッキ ④道路ストック	①橋梁補修設計 2 橋、補修工事 1 橋 ②58 橋点検③住道デッキ点検④舗装工事
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	①市内の重要橋梁の維持修繕(事業期間 47年) ②市管理橋梁を点検(5年に1回) ③住道デッキ点検 ④市内の1,2級路線の劣化した舗装の修 繕事業	①補修設計に基づく補修工事を実施(2カ年計画の 1年目) ②2カ年に分けて橋梁定期点検要領に基づく点検を 実施(初年度) ③住道デッキ点検を実施 ④舗装劣化度が「ランク1」であった路線の補修を実 施(4ヶ年計画の1年目)

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	単年度達成率(事業費ベース)	独自	H29	100%	83%
	人権行政の視点	長寿命化修繕計画を進めることにより地域の 安全性を確保し市民の安全で快適な生 活を確保する		地域の安全性の確保お よび市民の安全で快適 な生活の確保に寄与で きた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	橋梁の経済的な管理を計画的に実施 するために、事後的な架け替えよりも 予防的な修繕によるコスト圧縮を行う
結果	橋梁の経済的な管理を計画的に実施 し、修繕によるコスト圧縮に寄与した	道路及び橋梁の補修工事や点検を行うことにより、 道路網の安心と安全の確保に寄与した

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	道路新設改良事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	道路新設改良費
		総計	3-3-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	56,786,212	消耗品費	34,895
	国補助	66,953,000	事務業務委託料	2,967,589
	府補助		設計委託料(資産)	1,935,360
	市債	184,500,000	測量ボーリング委託料(費用)	2,494,800
	その他		鑑定委託料	1,836,000
	合計	308,239,212	使用料及び賃借料	3,080
		新設改良工事請負費(国)	70,049,600	
		新設改良工事請負費(単)	36,301,680	
		国・土地購入費	17,077,831	
		建設負担金	175,071,377	
		単・建設事業補償金	467,000	

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・現道の車道及び歩道の改良 ・現道の交差点の歩道段差の改良 ・人、車等の円滑な通行と安全確保のため現道を拡幅 ・道路拡幅及び交差点改良設計 	道路新設改良に必要となる用地取得・業務委託・工事を行う
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
「大東市バリアフリー基本構想」及び「大東市地域防災計画」に基づき歩道の拡幅・段差解消等バリアフリー化の整備や狭小な道路の拡幅整備を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・国費案件について6月の交付決定後より工事を発注し、完了させた ・単独費案件について早期に工事を発注し、完了させた ・交渉が完了した箇所から順次契約し、用地を取得した 	

指標	内容	目標		H29実績
		総計	H32	
		KPI	H32	
	単年度達成率(事業費ベース)	独自	H29	100%
人権行政の視点	歩道幅員の拡幅、バリアフリー化を進め、あらゆる市民の安全で快適な生活の確保、充実に図る			歩道拡幅やバリアフリー化により、市民の安全で快適な生活の確保、充実に寄与できた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	<p>目的</p> <p>道路環境の改善</p> <p>結果</p> <p>既設道路を改修等することにより、道路環境の改善に寄与した</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な道路機能の向上 ・防災拠点へのアクセス向上 <p>歩道整備やバリアフリー化を行うことにより、既設道路の安心・安全性向上および防災拠点へのアクセス向上に寄与した</p>

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	北条踏切改良事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	道路新設改良費
		総計	3-3-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	403,829	消耗品費	29,901
	国補助		事務業務委託料	373,928
	府補助			
	市債			
	その他			
合計	403,829			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	現道の北条踏切および前後道路を拡幅し、歩道を新設して通行の安全を確保するもの	事業予定地の用地取得に係る土地境界確定・物件調査・土地鑑定評価を行う
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得準備 ・道路設計・土質調査・用地取得 ・道路工事 ・踏切内工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地測量 ・用地交渉 	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	事業進捗率	独自 H32 100%	28%
人権行政の視点	踏切拡幅により歩道の新設をし、歩行者通行の安全確保、充実を図る	踏切拡幅のための用地を確保するため、地権者と交渉中	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	<p>目的</p> <p>道路環境の改善</p> <p>結果</p> <p>用地取得に向け、地権者と交渉中</p>	<p>安心・安全な道路機能の向上</p> <p>用地取得に向け、地権者と交渉中</p>

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	深野北谷川線新設事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	深野北谷川線新設費
		総計	3-3-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	1,004,597	事務業務委託料 設計委託料(資産)	850,597
	国補助	946,000		2,800,000
	府補助			
	市債	1,700,000		
	その他			
合計	3,650,597			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	本市の南北を貫く幹線道路として、また広域避難地大東中央公園へのアクセス道として重要な役割を担っている都市計画道路深野北谷川線の整備を行うもの	① 事業予定地の用地取得に係る道路詳細設計を行う ② 旧権現川接続部の土地境界確定・都市計画変更を行う
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
① 道路詳細設計(H29~H30) 土地鑑定・補償費算定(H30) 土地買収・物件補償(H31~H32) 道路工事(H33~H36) ② 土地境界確定・都市計画変更(H29) 道路予備設計(H30)	① 道路詳細設計(9月) ② 土地境界確定(6月) 都市計画変更(12月)	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	事業進捗率	独自 H36	100%
人権行政の視点	道路整備によるアクセス道路の確保により、地域住民の安全確保、充実を図る		道路整備によるアクセス道路の確保により、住民の安全確保、充実に寄与できた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 道路環境の改善 結果 道路環境の改善に向け、道路詳細設計を実施している	・安心・安全な道路機能の向上 ・防災拠点へのアクセス向上 安心・安全、および防災拠点へのアクセス向上に配慮した道路詳細設計を実施中

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 駅周辺整備課	目	野崎駅・四条畷駅周辺整備費
		総計	3-1-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	78,649,635		普通旅費
国補助	23,300,000		消耗品費	154,912
府補助			手数料(費用)	148,000
市債	48,200,000		事務業務委託料	33,766,485
その他			設計委託料(資産)	4,110,480
合計	150,149,635		鑑定委託料	1,449,360
			測量ボーリング委託料(資産)	1,478,520
			使用料及び賃借料	88,174
			新設改良工事請負費(国)	36,086,040
			新設改良工事請負費(単)	8,289,000
			国・土地購入費	30,728,297
			単・土地購入費	196,707
			建設負担金	15,180,000
			その他負担金	12,500
			国・建設事業補償金	18,357,000

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	市東北部の振興を図るため、JR 野崎駅・JR 四条畷駅の周辺整備を行い、2 駅周辺で特色ある魅力的な整備を推進する	野崎駅橋上化に向け JR 西日本(株)と基本協定を締結する。また、事業用地取得の推進を図るため、土地鑑定評価業務等を行い、用地購入および物件補償を行う
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
整備期間は、平成 34 年度までを予定 【野崎駅周辺】 ・野崎駅橋上化に向けた基本協定締結 ・駅前広場、自転車駐車場整備等 【四条畷駅周辺】 ・四条畷駅前東線の整備 ・駅前広場、自転車駐車場整備等	【野崎駅周辺】 ・JR 西日本(株)と基本協定締結 ・深野四丁目 13 号線整備等 【四条畷駅周辺】 ・四条畷駅周辺事業用地取得等	

指標	内容			目標	H29実績
	野崎駅・四条畷駅周辺整備における進捗率	総計	H34	100%	4.5%
		KPI	H32		
		独自			
	人権行政の視点	快適で豊かな市民生活の確保に資する			快適で豊かな市民生活の確保に資する事業等を行った

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 ・特色ある魅力的な整備 ・駅周辺の利便性の向上 ・主要アクセス道路等の安全性向上	JR西日本(株)と基本協定締結 事業用地取得の推進
結果	JR西日本(株)と基本協定締結 事業用地の一部取得	

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	地域公共交通事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 交通対策課	目	交通安全対策費
		総計	3-3-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	56,757,722	非常勤職員報酬	220,500
国補助	4,158,000	消耗品費	463,859	
府補助		事務業務委託料	9,946,800	
市債		使用料及び賃借料	12,860	
その他		新設改良工事請負費(単)	1,296,000	
合計	60,915,722	庁用器具購入費	871,510	
		その他負担金	34,104,193	
		その他団体補助金	14,000,000	

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	大東市内の東部地域への公共交通を導入 市内公共交通の運行管理 交通体系の調査検討	東部地域公共交通の実施(H29) 市内公共交通体系の調査検討
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
東部地域公共交通の運行実施(H29) 市内交通体系については、コミュニティバスのルート検証等を行い、市域全体の公共交通について、検討する	東部地域の公共交通については、運行計画に基づき、運行実施事業者を決定し、H30.1.26 より乗合タクシーの運行を実施 市内交通体系については、全体の見直しに先立ち、市南部地域において公共交通の利用実態調査等を実施後、運行計画案を策定	

指標	内容	目標	H29実績	
	阪奈生駒線(生駒登山口～寺川)の運行	独自 H30	継続	継続
	コミュニティバス利用客数	独自 H30	171,900人	170,499人
	東部地域(山麓部)での公共交通の実施	独自 H29	東部地域公共交通の年度内運行	H30.1.26 から運行開始
	人権行政の視点	交通の利便性を向上させることは、生活をしていくうえでのあらゆる権利の実現に関連している		各種公共交通の実施により、権利の実現に寄与できた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 市内の移動手段について、利便性を高めるため、公共交通機関との連携を図る 結果 東部地域の移動手段として、運行事業者と連携を図り、新たな公共交通を展開した	利用者数・利用実態等を検証し、市民が利用しやすい公共交通を運行する アンケート調査等により公共交通の利用実態を把握しつつ、南部地域の公共交通の運行に向け検討を開始。また、東部地域乗合タクシーの運行を開始し、市民の利便性向上が図れた

平成29年度 【街づくり委員会 B】

事業名	放置自転車対策事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 交通対策課	目	自転車対策費
		総計	3-3-4

事業費		決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	25,861,935		事務業務委託料	30,853,795
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他	4,991,860			
合計	30,853,795				

内容	全体の事業計画		H29年度の事業計画	
	JR3 駅(住道・野崎・四条畷)周辺の自転車等放置禁止区域内において、放置自転車の啓発・移送を行う		左記参照	
	全体のスケジュール		H29年度のスケジュール	
	○街頭啓発業務(平成 29 年度予定) JR3 駅周辺 年 291 日実施 ○移送業務(平成 29 年度予定) JR3 駅周辺 年 291 日実施 ○保管返還業務(平成 29 年度予定) 木曜日・祝日等を除く日の年 295 日実施		左記のとおり実施	

指標	内容			目標	H29実績
	放置自転車撤去台数の減少	総計	H32	2,923 台	2,878 台
		KPI			
		独自			
	人権行政の視点	放置自転車等が引き起こす通行支障等の問題を啓発し、市民の安全な通行の確保や景観維持を図る			通行環境が改善され、安全な通行の確保等に寄与できた

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	歩行者の安全とまちの景観を守り、だれもが安心安全で暮らせるまちづくりを目指す	街頭啓発、移送業務、保管返還業務の継続
	結果	歩行者の安全とまちの景観に改善傾向が見られた	放置自転車の撤去を実施し、駅前広場等の通行環境が改善できた